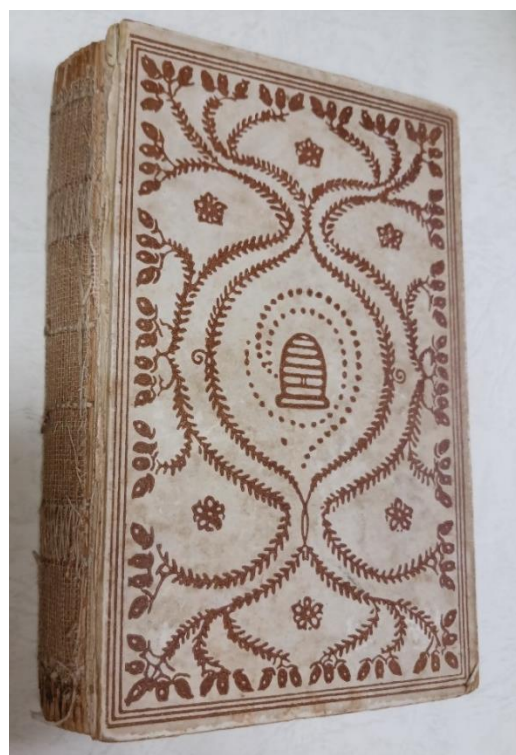
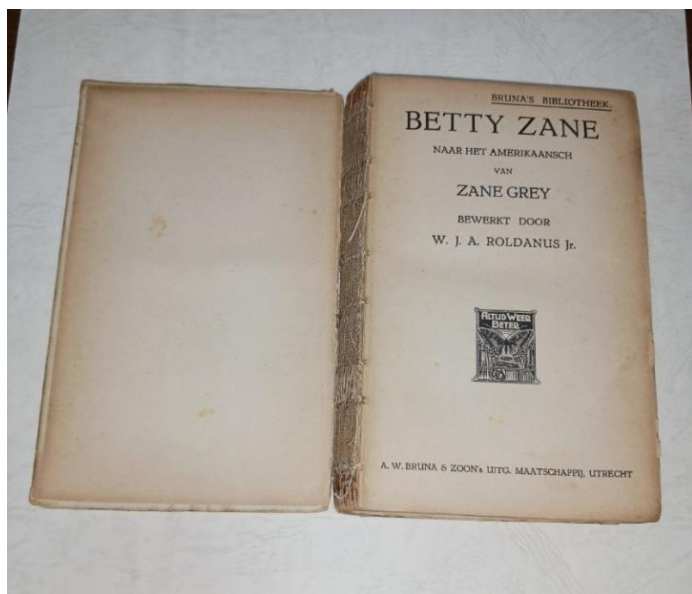


## 謎の機械綴じ本～オランダ編

NPO 法人書物研究会 2025 年度実践修理本科生 竹内夏子

アンティークショップ（ヴィンテージ家具を主に輸入販売している店。買付先はイギリス、インド、オランダ、デンマーク等）で背表紙の欠落した古書を発見し、修理用に購入した。板倉先生よりめずらしい綴じをしているとのご指摘があり、簡易な観察メモと併せて未修理のまま 2025 度夏季講座にて展示したところ、野呂先生執筆 2025 年 11 月 18 日掲載レポート『デンマーク製本の珍しい綴じ方』の本と似たような綴じをしていることが判明したので、紹介します。



書名 ベティ・ゼイン 著者 ゼイン・グレイ  
編者 W.J.A ロルダヌス Jr. 版元 A.W.ブルーナ&ゾーンズ

1900 年代初頭（推定。アメリカ版から W.J.A ロルダヌス Jr.によって編集されたオランダ語翻訳本。アメリカ合衆国における初版出版は 1903 年。） 角背 天地 176mm 左右 110mm

## ■著者 ゼイン・グレイ (1872-1939)

アメリカ合衆国オハイオ州生まれの作家、脚本家。

冒険小説、西部劇小説、釣りをモチーフにした小説、野球小説を執筆した。100以上の映画、テレビシリーズに原作や脚本を提供している。90冊以上の本を出版し、多数ベストセラーになった。

邦訳作品：「辺境の狼」 The Spirit of the Border (1906)

「ユタの流れ者」 Riders of the Purple Sage (1912)

「最後の一人まで」 To the Last Man (1921)

## ■編者 W.J.A ロルダヌス Jr. (ウィレム・ヤコブ・アールランド・ロルダヌス) (1877-1940)

オランダの作家、翻訳家。

『風と共に去りぬ』（オランダ語では『Gejaagd door de Wind』）などの人気英語小説や自身の作品の翻訳で知られ、その分かりやすい文体と大衆小説への貢献を通してオランダ文学に大きな影響を与えた。

## ■版元 A.W.ブルーナ&ゾーンズ

オランダ ユトレヒトを拠点とする出版社。ディック・ブルーナ氏の父親が経営していた。

## ■作品の内容

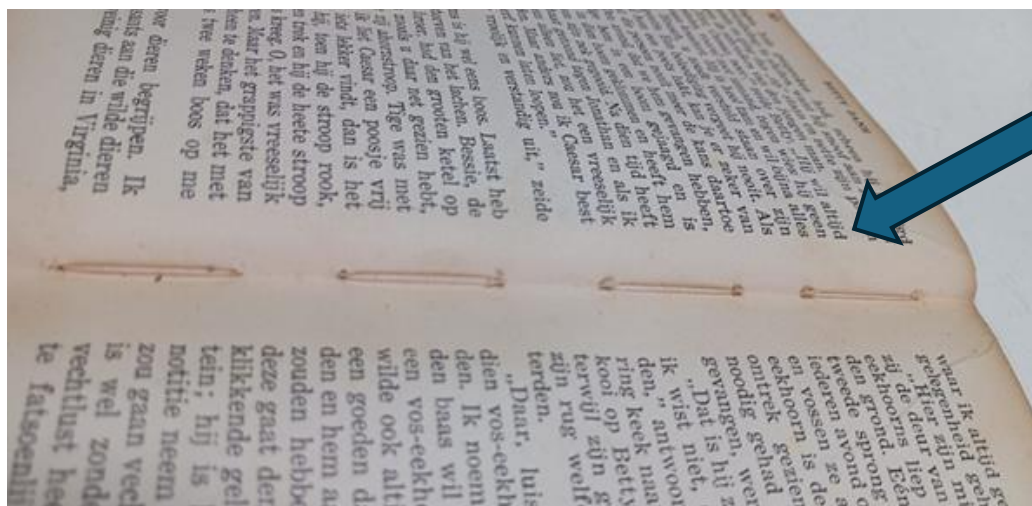
アメリカ開拓時代におけるアメリカ独立戦争の最後の戦いの  
ヒロイン少女ベティ・ゼインの物語

## ■ 綴じ方

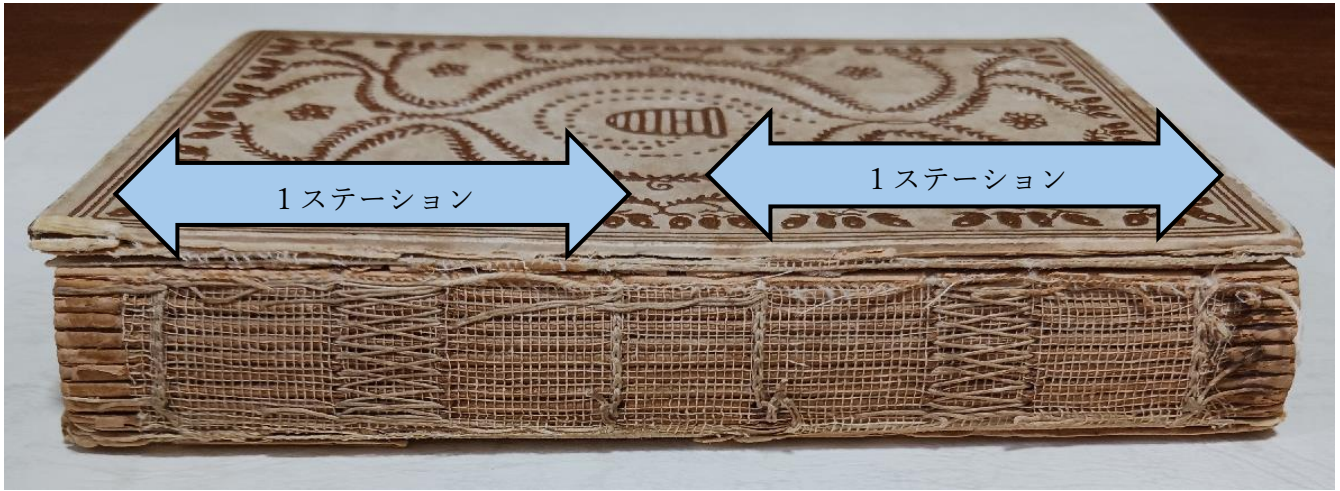


○ 天地 176mm 左右 110mm 折丁 8 枚ひと折

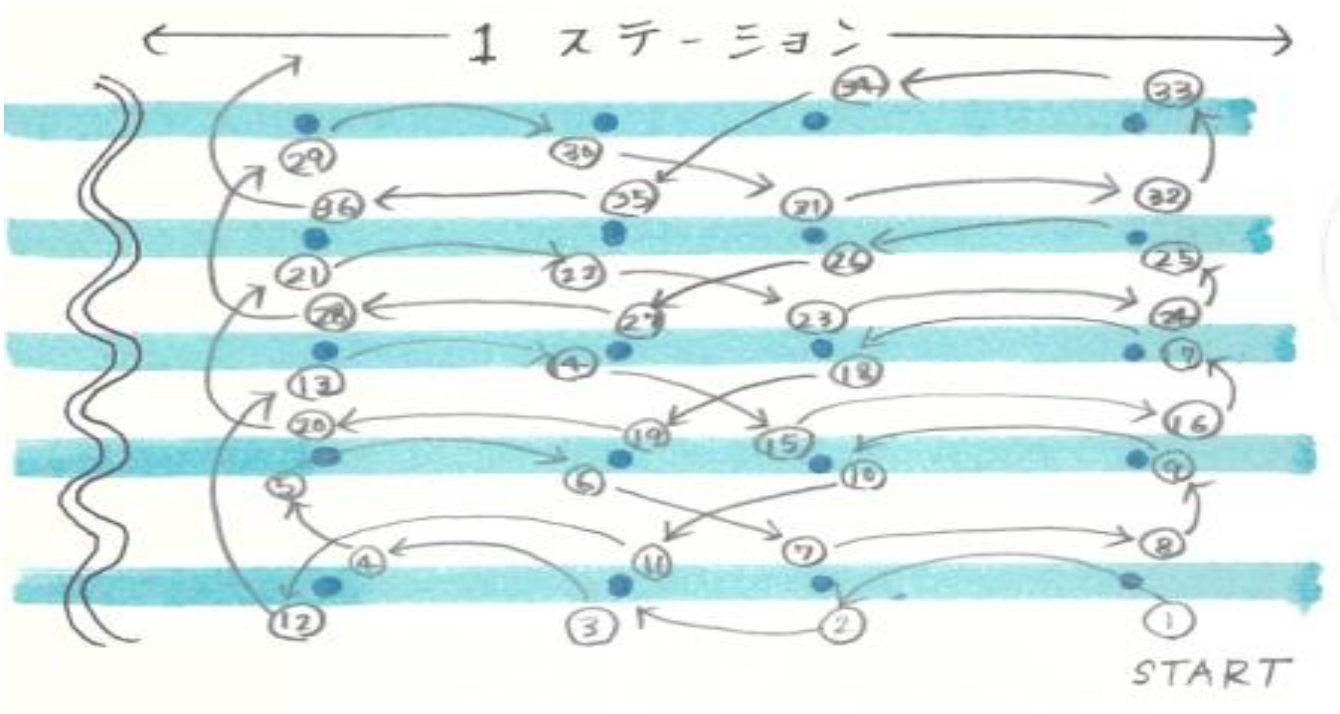
○ 背に貼った寒冷紗の上から(寒冷紗を巻き込んで)綴じてある。



○ 全ての折丁において、糸は常に 2 本ずつ渡っている。



○ 天地一連の綴じではなく、天側と地側別々に綴じてある。  
 手かかりだと非常に手間のかかる綴じであり、チェーンステッチの形状からも機械で綴じた可能性が高い。



↑ <観察してスケッチした綴じ手順イメージ> ↑